

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 30 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県長岡市高島町860番地1

氏名 株式会社新潟ディーゼル工業
代表取締役 近藤 正明

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0258-23-2527

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社新潟ディーゼル工業
事業場の所在地	新潟県長岡市高島町860番地1
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業、解体工事業、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分量（中間処理）
② 事業の規模	売上高 68,888万円
③ 従業員数	31名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・がれき類 自社で中間処理（破碎）⇒再生砕石、路盤材として再資源化 再生処理業者に委託⇒再生砕石として再資源化・木くず 自社で中間処理（破碎）⇒木くずチップとして、ボイラー燃料として再資源化 再生処理業者に委託⇒木くずチップとして再資源化、堆肥化等により再資源化・廃プラスチック類 処理業者に委託⇒破碎等により分別減量化⇒埋立処分・繊維くず 処理業者に委託⇒破碎等により減量化⇒焼却委託⇒埋立処分・紙くず 処理業者に委託⇒埋立処分・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 再生処理業者に委託⇒分別破碎処理後再資源化⇒一部、埋立処分・混合廃棄物 再生処理業者に委託⇒分別破碎処理後再資源化⇒一部、埋立処分・廃油 処理業者に委託⇒焼却

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状 【前年度（6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	がれき類
排出量	0.45 t	59.72 t	7.01 t	1,063.07 t	21.93 t	0.08 t	158.22 t	5,980.78 t
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物				
排出量	3.47 t	0.34 t	29.80 t	0.02 t				

(これまでに実施した取組)

- 産業廃棄物処理業（中間処理：破砕）を取得し、がれき類・木くず等の再資源化を行っている。（木くず、廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類）

② 計画 【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	がれき類
排出量	0.45 t	59.72 t	7.01 t	1,063.07 t	21.93 t	0.08 t	158.22 t	5,980.78 t
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物				
排出量	3.47 t	0.34 t	29.80 t	0.02 t				

(今後実施する予定の計画)

- 木くずは、自社の中間処理施設（破砕）において、ボード原料や燃料チップ化し再資源化を行う。
- がれき類は、自社の中間処理施設（破砕）において、路盤材や基礎材等にし、再資源化を行う
- 廃プラスチック類、紙くず、廃石膏ボード等は、分別し再生処理業者に処理委託を行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

- 解体工事等の現場において、廃材の分別を実施。他の廃棄物が混入しないよう配慮し、保管・管理を行う。

② 計画 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

- 解体工事等の現場で廃材の分別を徹底し、廃プラスチック類や金属等の細分化の実施に努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	908.09 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	5,980.78 t
②計画	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず	がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	908.09 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	5,980.78 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
(これまでに実施した取組)									
・ 自社破碎処理施設において、がれき類・木くずの再資源化を行っている									
【目標】									
②計画	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず	がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	908.09 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	5,980.78 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
(今後実施する予定の計画)									
・ 自社破碎処理施設において、がれき類・木くずの再資源化を行う。									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
②計画	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず	がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
(これまでに実施した取組)									
・ 特になし									
【目標】									
②計画	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず	がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
(今後実施する予定の計画)									
・ 特になし									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
②計画	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
(これまでに実施した取組)									
・特になし									
【目標】									
②計画	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
(今後実施する予定の計画)									
・特になし									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

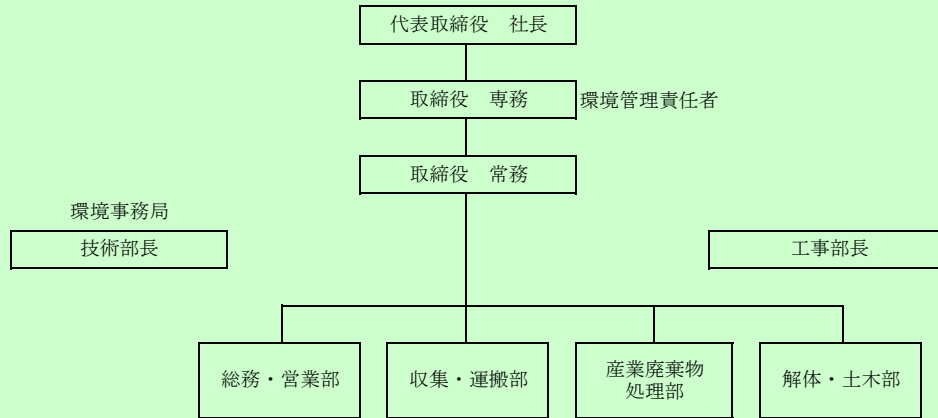
【前年度（6年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず	がれき類
	全処理委託量	0.45 t	59.72 t	7.01 t	1,063.07 t	21.93 t	0.08 t	158.22 t	5,211.58 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	40.62 t	3.09 t	0.00 t	0.91 t	0.07 t	113.40 t	2,965.44 t
	再生利用業者への処理委託量	1.08 t	19.10 t	3.92 t	52.57 t	21.02 t	0.01 t	31.20 t	2,246.14 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	0.00 t	0.00 t	0.00 t	1,010.50 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
②計画	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物				
	全処理委託量	3.47 t	0.34 t	29.80 t	0.02 t				
	優良認定処理業者への処理委託量	1.04 t	0.00 t	20.72 t	0.00 t				
	再生利用業者への処理委託量	2.43 t	0.34 t	9.08 t	0.02 t				
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
(これまでに実施した取組)									
<ul style="list-style-type: none"> ・がれき類・木くずの処理委託については、再生骨材や燃料チップ等の再生事業者に委託している。 ・処理委託業者については選定し、書面による契約を行い、委託している。 									

② 計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず	がれき類	
	全処理委託量	0.45 t	59.72 t	7.01 t	1,063.07 t	21.93 t	0.08 t	158.22 t	5,211.58 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	40.62 t	3.09 t	0.00 t	0.91 t	0.07 t	113.40 t	2,965.44 t	
	再生利用業者への処理委託量	0.45 t	19.10 t	3.92 t	52.57 t	21.02 t	0.01 t	31.20 t	2,246.14 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	0.00 t	0.00 t	0.00 t	1,010.50 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物					
	全処理委託量	3.47 t	0.34 t	29.80 t	0.02 t					
	優良認定処理業者への処理委託量	1.04 t	0.00 t	20.72 t	0.00 t					
	再生利用業者への処理委託量	2.43 t	0.34 t	9.08 t	0.00 t					
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	(今後実施する予定の取組)									
	<ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチック類・廃石膏ボードについては、再生処理を行う処理業者への委託量を増やし、再資源化の増加に努める。 ・委託先については、可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・委託先の処理業者には、定期的に現地確認等を実施する。 									
※事務処理欄										

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

第 2 面 管理体制図 について



【業務内容】

- 社 長 指示・統括
- 総務・営業 新規顧客の開拓に関すること
既存顧客からの受注に関すること
既存顧客のフォロー・管理に関すること
その他これらに付随する業務
収集運搬委託契約書の作成及び管理に関すること
労務・人事に関すること
その他庶務事項に関すること
財務に関すること
予算決算に関すること
- 収集・運搬 収集運搬に関すること
マニフェストの記入・管理に関すること
所有車両の管理に関すること
所有車両の点検及び整備に関すること
配車・運搬・人員の手配に関すること
その他これらに付随する業務
- 産業廃棄物処理 中間処理施設（破碎処理）の運営・管理に関すること
中間処理施設（破碎処理）の工程管理に関すること
マニフェストの記入に関すること
その他これに付随する業務
- 解体・土木 構築物の解体及び土木工事に関すること
所有重機の管理に関すること
所有重機の点検整備に関すること
その他これらに付随する業務

産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	株式会社新潟ゲーゼル工業代表取締役 近藤 正明	提出者の住所	新潟県長岡市高島町860番地1
事業場の名称	株式会社新潟ゲーゼル工業	事業場の所在地	新潟県長岡市高島町860番地1
内容年度	7 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状 ／ 計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況					
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量				
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J	
廃油	現状	0.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.45	0.00	1.08	0.00	0.00	
	計画	0.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00	0.00	
廃プラスチック類	現状	59.72	0.00	0.00	0.00	0.00	59.72	40.62	19.10	0.00	0.00	
	計画	59.72	0.00	0.00	0.00	0.00	59.72	40.62	19.10	0.00	0.00	
紙くず	現状	7.01	0.00	0.00	0.00	0.00	7.01	3.09	3.92	0.00	0.00	
	計画	7.01	0.00	0.00	0.00	0.00	7.01	3.09	3.92	0.00	0.00	
木くず	現状	1,063.07	908.09	0.00	0.00	0.00	1,063.07	0.00	52.57	0.00	1,010.50	
	計画	1,063.07	908.09	0.00	0.00	0.00	1,063.07	0.00	52.57	0.00	1,010.50	
繊維くず	現状	21.93	0.00	0.00	0.00	0.00	21.93	0.91	21.02	0.00	0.00	
	計画	21.93	0.00	0.00	0.00	0.00	21.93	0.91	21.02	0.00	0.00	
金属くず	現状	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.07	0.01	0.00	0.00	
	計画	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.07	0.01	0.00	0.00	
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	現状	158.22	0.00	0.00	0.00	0.00	158.22	113.40	31.20	0.00	0.00	
	計画	158.22	0.00	0.00	0.00	0.00	158.22	113.40	31.20	0.00	0.00	
がれき類	現状	5,980.78	5,980.78	0.00	0.00	0.00	5,211.58	2,965.44	2,246.14	0.00	0.00	
	計画	5,980.78	5,980.78	0.00	0.00	0.00	5,211.58	2,965.44	2,246.14	0.00	0.00	
安定型混合廃棄物	現状	3.47	0.00	0.00	0.00	0.00	3.47	1.04	2.43	0.00	0.00	
	計画	3.47	0.00	0.00	0.00	0.00	3.47	1.04	2.43	0.00	0.00	
石綿含有産業廃棄物	現状	0.34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.34	0.00	0.34	0.00	0.00	
	計画	0.34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.34	0.00	0.34	0.00	0.00	
管理型混合廃棄物	現状	29.80	0.00	0.00	0.00	0.00	29.80	20.72	9.08	0.00	0.00	
	計画	29.80	0.00	0.00	0.00	0.00	29.80	20.72	9.08	0.00	0.00	
水銀使用製品産業廃棄物	現状	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.00	
	計画	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	現状	7,324.89	6,888.87	0.00	0.00	0.00	6,555.69	3,145.29	2,386.91	0.00	1,010.50	
	計画	7,324.89	6,888.87	0.00	0.00	0.00	6,555.69	3,145.29	2,386.26	0.00	1,010.50	